

< 4月号 >



朝三中だより

朝霞市立朝霞第三中学校
平成31年4月8日発行

〒351-0023

朝霞市溝沼 1043-1
TEL 048 (464) 7575
FAX 048 (460) 2280



生徒の心に響く指導

校長 九鬼 武

柔らかな春の陽を浴び、黒目川沿いの桜も満開の時を迎えています。朝霞第三中学校にも新しい春が訪れ、本日、256名の新1年生を迎え、生徒総数791名、教職員58名のメンバーで平成31年度がスタートしました。

本年度も年度当初の人事異動により21名の教職員が転・退職され、新たに21名のフレッシュな顔ぶれがそろいました。新職員体制のもと、昨年度にもまして、より一層充実した教育をめざし、職員一同力を合わせて教育活動に取り組んで参りますので、今年度もどうぞよろしくをお願いいたします。

学校教育目標

「真理を求め、進んで学習する生徒」
「自ら考え、責任を持って行動する生徒」
「心身ともに、たくましい生徒」

目指す学校像

『一人一人が輝き 感動と笑顔あふれる学校』

教師の基本姿勢

生徒のよさを「認め、ほめ、励まし、伸ばす」
生徒の心に響く指導をめざす

さて、上に掲げました「学校教育目標」、「目指す学校像」を達成させるため、今年度新たに「教師の基本姿勢」として「生徒の心に響く指導をめざす」を付け加えました。

3月の卒業式に臨んだ在校生（現2，3年生）の姿からは、「お世話になった3年生に自分たちの手で最高の卒業式を作り上げて卒業させてあげよう」という気持ちがひしひしと感じられました。それは、卒業式に臨む態度や、合唱の歌声などに現れていましたが、振り返れば、式当日だけでなく、事前の練習の段階から、しっかりやろうという意識が感じられていました。そのような気持ちになったというのは、教師たちのきめ細かで、丁寧な指導があったからこそ、生徒たちの心に響き、生徒たちの心を動かしたのだと思います。更に振り返れば、卒業式だけでなく、日頃の教育活動の中で折に触れ、生徒の心に響く指導を心がけていたことが成果として現れていたのだと感じます。

教育を行っていく上で、生徒が心を閉ざしてしまったら、何もできません。生徒の心を開き、心に響かせるためには、「生徒のよさを、認め、ほめ、励まし、伸ばす」中で信頼関係を築き、その上で、心のかよった指導をすることが大切です。今年度、このことを全教師で確認しスタートしました。ご家庭でも、お子さんの頑張っている姿を、認め、ほめ、励まし、伸ばしながら、共に子どもたちの健全な成長を促していきたいと考えています。